

薬剤部

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	後藤 伸之	平成29年4月-
講師	塚本 仁	平成28年4月-

2. 研究概要

研究概要

薬剤部では、適正な薬物療法に貢献することを目的に様々な観点から研究している。例えば、個々の症例に最適な投与設計を導き出す薬物体内動態研究や、集積された臨床情報から薬剤疫学的手法を用いて、有効性・安全性を評価し、個々の適正使用情報をフィードバックするなど、個から集団へ、逆に集団から個へ、あるいは臨床から基礎へ、基礎から臨床へと幅広い研究実績を残している。特に、癌や感染症領域においては、チーム医療の中でそれぞれの専門薬剤師が中心となり、現在の高度に発展し多様化した薬物療法に安全性・有効性の科学的根拠を付加している。また、医療経済の観点から後発医薬品の使用が促進されているが、医療の質を低下させることなく後発医薬品を導入するため、その品質・安全性や医薬品情報に関する評価研究も行っている。

キーワード

医療薬学、薬剤疫学、医薬品情報、薬物体内動態、医薬品の品質管理、製剤開発

業績年の進捗状況

特色等

医薬品適正使用の実践に必要な情報を、薬物動態ならびに薬剤疫学の観点から構築している。薬剤部は病院において全診療科と密接に関連しており、臨床における薬物療法の有効性・安全性に関する種々の情報が入手可能であり、臨床の問題点に科学的なデータを付加し、適正使用情報としてフィードバックしている。さらに、診療情報からの副作用の自動検出システムを構築することで医薬品の適正使用の推進に取り組んでいる。そのため、他の診療科との共同研究も多い特徴がある。また、先進医療に積極的に取り組んでおり、薬物や代謝物の血中濃度測定や臨床試験のコーディネートならびにデータマネージメントをサポートしている。

本学の理念との関係

人々が健やかに暮らせるために必要な医薬品に関する薬剤疫学的調査により社会が必要としている医薬品の市販化に貢献している。また、専門医療を実践する上での薬物療法を支える医薬品情報の評価・提供の研究を実践している。

3. 研究実績

区分	編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2015～2020年分	2021年分	2015～2020年分	2021年分
和文原著論文	18	2	—	—
英文論文	ファーストオーサー	3	6.905(6.905)	5.004(5.004)
	コラストディンクオーサー	2	4.295(4.295)	5.004(5.004)
	その他	5	5.157(5.157)	1.809(1.809)
	合計	8	12.062(12.062)	6.813(6.813)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

2157001

Tomonori Aratani, Hitoshi Tsukamoto, Takashi Higashi, Takaaki Kodawara, Ryoichi Yano, Yukio Hida, Hiromichi Iwasaki, Nobuyuki Goto: Association of methicillin resistance with mortality of hospital-acquired Staphylococcus aureus bacteremia, J Int Med Res, 49(11), 3000605211058870, 202111, DOI: 10.1177/03000605211058872, #1.671

2157002

Takahito Mizuno, Takamasa Sakai, Kouichi Tanabe, Takumi Umemura, Nobuyuki Goto, Fumiko Ohtsu: Visualization of Kinase Inhibition-Related Adverse Events Using the Japanese Adverse Drug Event Report Database, Drugs - Real World Outcomes, 8(2), 197-206, 202106, DOI: 10.1007/s40801-021-00235-w

2157003

Takahito Mizuno, Takamasa Sakai, Kouichi Tanabe, Koji Kozaki, Takumi Umemura, Mariko Higashikawa, Tomoki Kimura, Tetsuya Yamada, Nobuyuki Goto, Fumiko Ohtsu: Identification of target small molecule tyrosine kinase inhibitors that need monitoring and clinical application of protocol for early detection of cancer therapeutics-related cardiac dysfunction using signal detection: An investigation of real world data, J Oncol Pharm Pract, 27(4), 804-814, 202106, DOI: 10.1177/1078155220930367, #1.809

2157004

Toshiaki Igarashi, Shinji Kishi, Naoko Hosono, Takashi Higashi, Takahiro Iwao, Ryoichi Yano, Hitoshi Tsukamoto, Nobuyuki Goto, Takahiro Yamauchi, Takanori Ueda: Population pharmacokinetic model development and exposure-response analysis of vincristine in patients with malignant lymphoma, Cancer Chemother Pharmacol., 87(4), 501-511, 202104, DOI: 10.1007/s00280-020-04220-y, #3.333

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

2157005

後藤 伸之：「服薬指導・薬剤情報」人工弁植込み患者のケア（p416）、慢性甲状腺炎（橋本病）（p777）、頭痛（p992）、疥癬/ケジラミ症（p1283）、味覚障害（p1580）：今日の治療指針2022, 医学書院, 416, 777, 992, 1283, 1580, 202201

2157006

後藤 伸之：後発医薬品に関する情報の選択と留意点付録：治療薬マニュアル2022, 医学書院, 15-21, 202201

2157007

後藤 伸之：第4章 EBM (SBO 17~20)：スタンダード薬学シリーズⅡ 第6巻 医療薬学 V 薬物治療に役立つ情報 補訂版（日本薬学会編）、東京化学同人, 202105

2157008

後藤 伸之：7. 糖尿病治療薬を含む処方 PP179-182 8. 抗リウマチ薬を含む処方 PP182-184: 薬剤師がはじめるフィジカルアセスメント（改訂第2版）
副作用症状を見抜くためのポイント著者：濱田久之（編）、佐々木均（編）、北原隆志（編）、南江堂, 202104

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

2157009

森田陽介, 渡邊享平, 古俵孝明, 坪田有未, 矢野良一, 塚本 仁, 後藤伸之: ラモトリギンの低用量導入による皮膚障害リスク軽減効果に關する後ろ向き調査, 医薬品情報学, 23(4), 24-27, 202203

2157010

坂田徳子, 松岡大晃, 古俵孝明, 東 高士, 矢野良一, 渡邊享平, 塚本 仁, 東野芳史, 山内真寛, 北井隆平, 菊田健一郎, 後藤伸之: 胃全摘患者におけるテモソロミドの経口投与を施行した1症例, 医療薬学, 47(7), 380-386, 202107, DOI: 10.5649/jjphcs.47.380 (症例報告)

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

2157011

Hironobu Akino, Miyuki Uno, Ayumi Inoue, Kazuyo Terasaki: A pointing and calling campaign may be useful to prevent patient misidentification, International Society for Quality of Health Care's 37th international conference, 20210708

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

2157012

秋野裕信, 寺崎和代, 宇野美雪, 井上歩美, 清川真美, 田中裕生子, 森岡浩一: 医療事故の発生メカニズムと当院における医療安全推進活動, 第46回全国身体障害者福祉医療講習会・第26回補聴器キーパーソン全国会議, 20210613

b. シンポジスト・パネリスト等

2157013

秋野裕信, 宇野美雪, 中川好美, 森岡浩, 寺崎和代: 高難度新規医療技術を安全に導入するために, 第7回日本医療安全学会学術総会, パネル討議会・高難度新規医療技術を安全に実施する, 20210529

2157014

後藤伸之: 『販売情報提供活動G L』を医療現場と製薬企業の共通のものさしにするために, 第31回日本医療薬学会年会, 販売情報提供ガイドラインは情報共有を阻害しているか? ~G L後の情報提供の在り方と臨床現場の情報ニーズ, 20211009

2157015

後藤伸之: 医薬情報委員会の取り組み
—医薬品情報は、驚くほど変わっていく—, 第4回日本病院薬剤師会Future Pharmacist Forum, 20210710

2157016

五十嵐敏明: 医療現場での情報システムのり活用~GS1を中心に, 第23回日本医薬品情報学会総会・学術大会, 20210627

2157017

古俵孝明: 病棟業務の価値を高めるために我々ができること ~新規業務の開始時が最も成果を可視化するチャンス~, 第31回日本医療薬学会(熊本), 「病棟業務を可視化する指標と方法を再考する-今こそ示したい! 病棟における薬剤師のプレゼンス-」, 20211010

2157018

宇野美雪, 稲井邦博: 医療事故死調査における介入死因の活用, 第16回医療の質・安全学会学術集会, 低解剖時代における死亡症例・合併症の調査法とは, 20211127

2157019

五十嵐敏明: 自己免疫性・炎症性疾患領域の薬物治療評価に必要なスキル, 第31回日本医療薬学会年会, 薬物治療の患者フォローアップに必要なスキル—薬効・副作用を検体検査や画像所見と結びつけて評価する—, 20211009

2157020

後藤伸之: 医薬品適正使用とDX—病院薬剤師はDXに対してどのような取り組みができるのか—, 第23回日本医薬品情報学会総会・学術大会, 20210627

c. 一般講演（口演）

2157021

早瀬美香, 成瀬貴之, 藏川真紀子, 岸下宏美, 齋木明子, 小林奈美子, 橋本儀一, 石田園光, 酒井郁美, 椿貴佳, 玉木雅人, 五井孝憲, 片山寛次, 廣野靖夫: 術前栄養管理を行い術後合併症なく退院できたるい瘦を伴う進行食道癌の1症例, 第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 20210721

2157022

宇野美雪, 西島昭彦, 法木左近, 後藤伸之, 内木宏延, 稲井邦博: Ai研究を基盤に確立した 推定法を用いた肝重量の経時的解析, 第19回オートプシー・イメージング (Ai) 学会学術総会, 20210925

2157023

廣野靖夫, 片山寛次, 椿貴佳, 成瀬貴之, 呉林秀崇, 澤井利次, 玉木雅人, 森川充洋, 小練研司, 村上真, 酒井郁美, 石田園光, 齋木明子, 早瀬美香, 五井孝憲: 地方大学における栄養療法の教育のあり方と未来への願い, 第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 20210721

d. 一般講演（ポスター）

2157024

重森美奈, 根来 寛, 小島すみれ, 渡邊享平, 古俵孝明, 塚本 仁, 矢野良一, 後藤 伸之: 腎機能低下患者におけるアムルピシンの骨髄抑制に関する検討, 第31回日本医療薬学会年会, 20211015

2157025

十佐近歩美, 渡邊享平, 今野彩, 櫻川さほり, 東高士, 渡瀬友貴, 北出結伽, 奥村直也, 森下真明, 寺澤優子, 佐藤友美, 鈴木大吾, 矢野良一, 古俵孝明, 塚本仁, 後藤伸之: 添付文書の様式改訂が及ぼす「使いやすさ」への影響に関する意識調査, 第31回 日本医療薬学会年会, 20211009

2157026

清川真美: 職員のアンケート分析から考えるTeamsSTEPPSR研修の評価と今後の課題について, 第16回 医療の質・安全学会学術集会, 20211127

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

2157027 秋野裕信、寺崎和代、宇野美雪、井上歩美、清川真美、田中裕生子、森岡浩一：福井大学病院における医療安全推進活動をかえりみて、第21回富山県公的病院医療安全研究大会、20210703

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

2157028 田中敏博、田端志帆、高柳聡子、十佐近歩実、政田一樹、古俣孝明、渡辺享平2、塚本 仁、後藤伸之：Web会議システムを利用した教育セミナーに対する有用性評価、第31回北陸ブロック学術大会、20211101

2157029 清川真美：コロナ禍にいての医療安全の取り組み、メディカルセミナーin北陸、20211030

2157030 後藤伸之、水草博希、塚本仁、坂田洋：診療報酬用データ（DPC）利活用による抗菌薬使用量集計システムの評価、令和3年度日本病院薬剤師会北陸ブロック学術大会、20211107

d. 一般講演（ポスター）

2157031 門下鉄也、藤田行代志、古俣孝明、齋藤妙子：トリフルリジン・テビラシルによる痒痒感に対して保険薬局での薬学的介入が奏功した1例、第31回日本病院薬剤師会 北陸ブロック学術大会（福井）、20211107

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

2157032 古俣 孝明：栄養輸液の基本的な使い方をマスターしよう、令和3年度 第2回福井県病院薬剤師会学術研修会、20210916

2157033 清川真美：医療安全に必要な基礎知識～安全な医療を提供するために～、令和3年度 第4回福井県病院薬剤師会 業務委員会研修会、20211222

2157034 後藤伸之：特別講演 リアルワールドデータを医薬品適正使用に活用する 『ごみの山から宝の山へ』、一般社団法人くすりの適正使用協議会 薬剤疫学入門セミナー（東京）、20210707

2157035 後藤伸之：『変革する時代の医薬品情報をどのように活用するか！』、令和3年度 福井県病院薬剤師会総会 学術講演会、20210518

2157036 後藤伸之：新人薬剤部でもできる新薬評価 ―「新医薬品の薬価算定」の利活用！―、令和3年度 第5回福井県病院薬剤師会学術研修会、20211110

2157037 塚本 仁：感染制御の基礎知識～消毒薬の基礎知識～、令和3年度第6回福井県病院薬剤師会業務委員会研修会、20220210

2157038 森田 陽介：製薬企業の広告活動について、令和3年度 第8回福井県病院薬剤師会 学術研修会、20220120

2157039 政田一樹：スポーツファーマシストの役割～東京オリンピック2020の経験から～、令和3年度・第3回福井県病院薬剤師会学術研修会、20211014

2157040 政田一樹：自転車競技選手・関係者のためのアンチ・ドーピングの知識2022、2021年度JBCFチーム・アテンダント講習会、20220312

b. シンポジスト・パネリスト等

2157041 今野 彩：院外処方疑義照会について、令和3年度 第5回福井県病院薬剤師会 業務委員会研修会、院外処方の疑義照会 あなたの施設はどうしてる？、20220125

2157042 後藤伸之：医薬情報委員会の取り組み=医薬品情報は、驚くほど変わっていく=、第4回 日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum、医薬情報委員会の取り組み、20210630

c. 一般講演（口演）

2157043 清川真美：当院の転倒・転落事例から考えるポリファーマシー、福井医療の質・安全を考える会、20220311

2157044 政田一樹：病棟でかかわるリウマチ性疾患、第5回 福井リウマチ研究会、20211124

2157045 平野陽子、五十嵐敏明、林 咲希、百田亜紀子、木下佑子、塚本 仁、岩崎博道、後藤伸之：ビクテグラビル・エムトリシタピン・テノホビルアラフェナミド配合剤への処方変更に関する調査、令和3年度北陸HIV臨床談話会、20210807

2157046 根来 寛：薬局薬剤師が知っておきたい胃癌化学療法レジメンと薬物療法・マネジメント～外来化学療法で汎用されるレジメンを中心に～、がんレジメン研修会―胃癌―、20210909

2157047 田嶋恭典：薬剤師CRCの視点から考える・血液腫瘍領域における抗悪性腫瘍薬の適正使用、福井急性白血病フォーラム、20220222

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他
2157048

秋野裕信、寺崎和代、宇野美雪、井上歩美、清川真美、田中裕生子、辻 美佐枝、森岡浩一：チームでがんばろう医療安全、春江病院 医療安全研修会、20210730

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研究費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	薬剤耐性(AMR)対策に向けた抗菌薬の使用動向調査システムの開発に関する研究	後藤 伸之	塚本 仁、渡邊 享平、矢野 良一、五十嵐 敏明、東 高士	20200401-20230331	¥650,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
共同研究	学校法人京都薬科大学	小細胞肺癌患者におけるUDP-グルクロン酸転移酵素1A1の遺伝子多型がエトポシドの体内動態及びその副作用発現に及ぼす影響	根来 寛、後藤 伸之、重森 美奈	20191001-20240331	¥0

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
----	-----	-----	------	------	------

(B) 薬学寄附金

受入件数	5
受入金額	¥1,300,000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本臨床薬理学会	社員	後藤 伸之
日本薬剤疫学会	評議員	後藤 伸之
日本医薬品情報学会	副理事長	後藤 伸之
日本医療薬学会	代議員	後藤 伸之
日本薬学会	一般会員	後藤 伸之
日本医療薬学会	代議員	塚本 仁
日本化学療法学会	一般会員	塚本 仁
日本薬学会	一般会員	塚本 仁
日本環境感染学会	一般会員	塚本 仁

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
-----------------	-----	----

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長(主査)・委員の別	氏名	査読編数
----------	-------	--------------	----	------

(E) その他